

おんらいん読書会 2023/11/08 : 菊池

ほしのはじまり - 星新一ショートショート / 新井 素子編

科学者の幼い頃の愛読書としてよく名が挙がる星新一。

SFを中心に1000編を超える作品を執筆した、

ショートショートの神様だ。

バーで働く美人口ロボットを描いた「ボッコちゃん」、

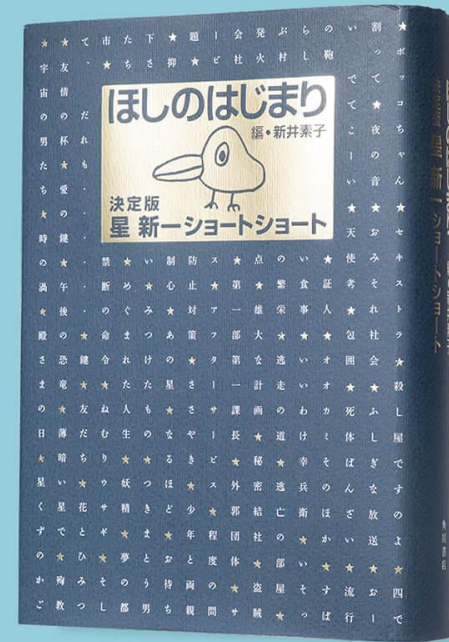
平和な休日に突然恐竜が出現する「午後の恐竜」など、

星チルドレンの作家・新井素子が選び抜いた54篇を

収録した保存版。

- (以前の回でも似た感じを取り上げているように)
楽に読める

- 科学は創造で発展…のアンチテーゼ?



おんらいん読書会 2023/11/08 : 菊池

先ほどのこぼれ話 :

理研が毎年恒例の企画として
科学道の100冊を選書

※今月下旬ころに2023版が
発表されると思われます

そのなかの「科学道クラシッ
クス」からご紹介しました

科学道100冊 KAGAKUDO 100BOOKS

プロジェクト紹介 | 科学道100冊ラインナップ | 記事 | 過去シリーズ | お問い合わせ

科学道クラシックス

50タイトル

時代を経ても古びない良書として選んだ「オールタイム・ベスト50」。
2019年に選出し、2020年、2021年度も引き続き、同じ本をお薦めしています。

The grid displays ten book covers from the Science Road Classics series. The covers include: 1. 'Science and Scientists: A History' (科学と科学者のはなし), 2. 'The Traveler' (旅人) by Ryūkyū Shōjū, 3. 'Feynman's Story' (ご冗談でしょう、ファインマンさん), 4. 'The Scientist's Paradise' (科学者の楽園をつけた男), 5. 'The Discovery of Academic Fields' (学問の発見), 6. 'How to Solve It' (いかにして問題をとくか) by G. Polya, 7. 'Science and Pseudoscience' (科学と仮説), 8. 'The Discovery of Science' (科学の発見), 9. 'Sophie's World' (ソフィーの世界), and 10. 'A History of Human and Scientific Knowledge' (人類と科学の400万年史).

おんらいん読書会 2023/11/08 : 菊池

地球 - その中をさぐる - / 加古 里子

身近な土の下や地上の自然から始まり、コア層にいたるまでどんどんスケールを拡げつつもわかりやすい説明で、子供から大人まで楽しめる絵本のような科学書

(作者は「だるまちゃん」と「てんぐちゃん」などの絵本も多数執筆)

